

## 深草子ども食堂へ『京はたけ菜』を提供

1月11日、京都市伏見区深草で毎月開催されている「深草子ども食堂」へ、羽束師地域で栽培された『京はたけ菜』が提供されました。

同子ども食堂は、月に一度、日曜日に開催されており、学生中心のボランティアが料理を提供、毎回100名程の親子の参加があります。

伏見稻荷大社からも近く、初午の日に開催される初午大祭（今年は2月1日）も近いことから、PRもかねて提供されました。

『京はたけ菜』は、2025年3月に「京のブランド产品」に認定され、同年10月には、当JA管内の、京都市伏見区淀地域・羽束師地域、

京都市西京区大原野地域、大山崎町が産地指定されました。

食品ロス削減も視野に、提供された『京はたけ菜』は、大きく生育しそぎ、市場出荷できない規格外品。それでも、葉や茎は柔らかく、じゃこごはんやベーコンマヨ炒めは好評で、来場客からは、「おいしいね！」「もっと食べたい！」などの声が聞かれました。当日は約100食のお弁当が用意され、全て完売しました。

1月16日には、京都市役所前にて開催されるイベント「小さな芝生広場の実験」にて、ダンボールを使ったピザ窯で作るピザの具材に、『京はたけ菜』が使用されます。

お近くにお越しの際は、ぜひご来場ください。



子ども食堂の様子



2025冬号 ベルメール vol.21

『京はたけ菜』と『しろ菜』が  
掲載されました。



J Aグループ京都が発行する「ベルメール」2025冬号に、『京はたけ菜』と『しろ菜』が掲載されました。

同品目の、歴史や特徴、おいしい食べ方などが記載されたリーフレットです。

今回は、ブランド京野菜セットが当たるクイズ付き！各支店・経済センターに配置しておりますので、ぜひご来店ください。

— TAC information —



# 2026年 肥料・農薬予約申込書



JAねっとショップ  
でのお申込みが  
おトク

JA京都中央 全農



被害が確認された圃場

2024年にタケ類の葉を食害するなど甚大な被害が発生しました。

2024年10月に被害地域で採集された幼虫及び蛹は、農林水産省植物防疫研究所により、外来種「シナチクノメイガ」によるものと同定されました。

2025年もタケ類の被害と類似する被害が7月上旬から下旬に管内の京都市西京区から向日市、長岡京市、大山崎町など、西山一体の栽培圃場で発生しました。気象や生態系の変化による影響なのか原因究明中ですが、管内における2024年度産「京たけのこの」の出荷量は、前年比48.8%となり、降雨量や同「シナチクノメイガ」による被害の影響か調査中です。

京都府による植物防疫法第29条第1項に基づく措置（たけのこのシナチクノメイガに対する防除）として、2025年1月8日より防除薬剤「エスマルクDF」(No.薬-68)を使用することができることになりました。

さらに、2025年9月1日からは、類似する被害として、「ノイガ類」も多く発生していることから「シナチクノメイガ」を含む「ノイガ類」の防除も使用できることになりました。

害虫の特定や「シナチクノメイガ」の生態を試験研究機関などと継続的に対策を検討しております。

今回、「京たけのこ」の高品質安定栽培に向け、害虫防除対策と生産農家の支援を目的に「ノイガ類」の防除薬剤「エスマルクDF」を当JAが一部助成し、特別価格（当用価格より3割引）にて販売することとなりました。

この機会にぜひご注文下さい。

※本予約申込書でのご注文に限ります。

※予約書内の申込に記入のない場合は対象外となりますのでご承知ください。

締め切り日は、

1月19日(月)

です。

締め切り間近！！

お申し込みはお早めに

近年問題になっているノイガ類への対策費として、JAが一部助成し、本予約注文に限り、「エスマルクDF」を特価で提供いたします。

## タケ類における「ノイガ類」による被害



ご予約は、断然「JAネットショップ」  
がお得です。

事前登録が必要となりますので、ご  
要望の方は、西南部経済センター及び  
エリア担当へお申し付けください。